

# 総合政策部交通政策課

## 1 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

ア 日ノ丸自動車株式会社

区 分		路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	7 42,331,209
		県補助対象路線 (広域路線)	6 16,351,217
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	10 43,409,201
合 計		23	102,091,627

イ 日本交通株式会社

区 分		路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	1 2,023,559
		県補助対象路線 (広域路線)	9 49,815,362
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	10 35,057,040
合 計		20	86,895,961

(2) 米子市循環バス (愛称「だんだんバス」) だんだんコース運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ア ルート 市内中心部 (米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅) での一方向周りの循環運行

イ 運行回数 平日21便、土・日・祝日19便 (始発8時～終発18時。30分間隔)

ウ 使用車両 ノンステップバス (34人乗り) 2台

エ 停留所 32か所 (市が設置)

オ 料金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円 / 3か月13,500円

小学生1か月3,000円 / 3か月9,000円

障がい者等1か月1,500円 / 3か月4,500円

回数券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券 (日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分) を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した額 (20,232,467円) を市が補填した。

ク 利用者数 年間乗車人員93,156人

一日平均255.9人、一便平均12.6人 (幼児を含む。)

(3) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）歴史コース・まちなかコースの実証運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの実証運行を令和3年12月から令和4年3月31日まで実施した。

ア ル ー ト	歴史コース（1周30分）とまちなかコース（1周20分）を交互に運行。 【歴史コース】米子駅→米子城前→大学病院→寺町通り→高島屋前→米子駅 【まちなかコース】米子駅→西部総合事務所前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅
イ 運行回数	平日19便、土・日・祝日17便（始発8時45分～終発17時45分）
ウ 使用車両	中型バス1台
エ 停 留 所	20か所
オ 料 金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
定 期 券	中学生以上1か月4,500円／3か月13,500円 小学生1か月3,000円／3か月9,000円 障がい者等1か月1,500円／3か月4,500円
回 数 券	150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円 50円券11枚綴り500円
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
キ 運行方法	市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した額（4,388,246円）を市が補填した。
ク 利用者数	年間乗車人員2,828人 一日平均23.6人、一便平均1.3人（幼児を含む。）

(4) 米子市淀江町巡回バス（愛称「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替として、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ア ル ー ト	便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオンモール日吉津等を巡回（1便当たりの所要時間 17分～59分）
イ 運行回数	平日・土曜10便、日曜・祝日運休（始発7時50分～終発16時00分）
ウ 使用車両	マイクロバス（29人乗り）1台、マイクロバス（23人乗り）1台
エ 停 留 所	53か所（市が設置）
オ 料 金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
定 期 券	中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円 障がい者等1か月1,500円
回 数 券	150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円 50円券11枚綴り500円
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
キ 運行方法	市が市町村運営有償運送にて、タクシー事業者に運行を委託し、運行経費（11,200,000円）を委託料として支払った。
ク 利用者数	年間乗車人員9,328人 一日平均31.5人、一便平均3.2人（幼児を含む。）
ケ そ の 他	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、淀江小学校に路線バスで通学する児童（1年

生から3年生まで)を対象に、米子市淀江町巡回バス条例第9条の規定に基づき、路線バスの定期券を提示することにより、米子市淀江町巡回バスの使用料を免除した。

(5) その他バス路線負担金

路線バスの廃止代替として、安来市広域生活バス「イエローバス」に1,291,000円を運行負担金として支出を行った。

(6) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

ア 構成 学識経験者1名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表4名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、県職員1名、市職員2名、その他市長が認める者1名 計15名

イ 開催日 令和3年5月19日(書面審査)、令和3年10月19日、令和3年11月11日(書面審査)、令和3年12月17日(書面審査)、令和4年1月14日(書面審査)、令和4年2月14日(書面審査)

(7) 高齢者バス運賃助成事業

高齢者のバス利用を支援するため、バス定期券「グランド70」の助成事業を実施。

ア 米子市に在住の満70歳以上の方に対し、「グランド70」を半額の13,100円で販売し、定価(26,200円)との差額を助成。

実績件数 388件

交付金額 5,082,800円

イ 運転免許を自主返納してから1年以内の、米子市に在住の満70歳以上の方に対し、「グランド70」を1,000円で販売し、定価(26,200円)との差額を助成。

実績件数 133件

交付金額 3,351,600円

(8) 快適なバス待合環境応援事業

便利で快適なバス待合所の環境整備に自主的に取り組む自治会や民間事業者等に対して、その整備費用の補助を実施した。

実績件数 1件

交付金額 500,000円

(9) 高校生通学費助成事業

遠距離通学をする高校生等の保護者等に対し、1ヶ月あたりの通学費が7,000円を超えた額について支援を実施した。

実績件数 53件

交付金額 1,130,266円

(10) バス割引乗車券配布事業

バスの利用促進を目的として、米子市文化財団(米子文化ホール、米子市公会堂、米子図書館等)が催すイベントやフレイル対策推進事業等に参加された方に、市内で発着する日ノ丸自動車(株)と日本交通(株)が運行する路線バスの運賃から200円割引をするバス割引乗車券を配布した。

配布枚数 1,380枚

使用枚数 436枚

負担金額 87,200円

(11) ノーマイカーデー

米子市内の事業者を対象として、通勤時に公共交通の利用を促進するキャンペーンを展開し、毎週金曜日をノーマイカーデーとし、路線バス運賃を半額、協賛店舗での割引特典等が受けられるものとした。

○ノーマイカー運動実績 延べ47団体、1,255名

- ・一般企業等 32事業者、1,184人
- ・市内県関係団体 3団体、28人
- ・市職員 12職場、43人

(12) バス利用環境向上事業

路線バスの利用者に分かりやすい情報提供を行うため、バス停留所「高島屋前」と「公会堂前」を「高島屋・公会堂前」、バス停留所「久米町」と「加茂町」を「米子城入口」にバス停留所の名称変更（変更日：令和4年4月1日）を行った。

## 2 鉄道関係

- (1) 中国横断新幹線の整備を推進するため、「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」を通じて、広報・要望活動を行った。また、新幹線PR看板を米子市文化ホール敷地内に設置した。
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」を通じて要望活動を行った。
- (3) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (4) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社との調整を行った。
- (5) JR淀江駅前公衆便所の維持管理を行った。

## 3 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR境線米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 令和3年度の米子空港利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内線が19.8万人、国際線が0人であった。
- (3) ANAの米子ー東京便については、新型コロナによる需要減少により、令和2年3月9日から令和3年度中も引き続き減便で運行した。
- (4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。
  - ア 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR  
鳥取県や、中海・宍道湖・大山圏域市長会等と連携し、東京便旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。
  - イ 新聞雑誌等によるPR  
新聞、雑誌、ラジオ、テレビ番組等により路線や旅行商品についてPRを行った。

## 4 交通全般

- (1) 米子市公共交通機関時刻表「のりものガイド」発行  
令和3年4月1日現在の米子市を発着する路線バス、高速バス、JR、飛行機の時刻をまとめた小冊子を

株式会社サイネックスと共同発行した。

ア 配布開始日 令和3年6月9日

イ 発行部数 7,000部

【主な配布先】米子市転入者約4,000部、市役所施設内約1,000部、日本交通米子駅前バスターミナル、一部バス車内、各公民館、観光センター等

(2) Y-MaaS実証実験

米子広域圏（米子市、安来市、境港市、西伯郡、日野郡）の路線バス、コミュニティバスの利用促進を目的として、スマホによる電子チケット運用の実証実験を行った。

ア 実施期間

令和4年1月1日から令和4年3月31日まで

イ 実施内容

路線バス（日ノ丸自動車、日本交通）とコミュニティバス（米子市のだんだんバス、どんぐりコロコロ、安来市のイエローバス）が1日乗り放題となる電子チケット（愛称「わいわいパス」）を発売し、運用した。

ウ 実施方法

日ノ丸自動車、日本交通、米子市、安来市の4者で米子地域MaaS協議会を設置し、RYDE株式会社のRYDE PASSアプリ上で、発売、運用を行った。

エ 電子チケットの種類

広域1日券	おとな1,000円／子ども500円	平日の午前10時までは利用不可
米子市内1日券	おとな600円／子ども300円	

オ 購入実績

(ア) 件数・人数

	件数	おとな	子ども
合計	73件	80人	4人
広域1日券	32件	33人	1人
米子市内1日券	41件	47人	3人

(イ) 購入代表者の年代・性別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	不明	合計
合計	5人	16人	17人	12人	18人	5人		73人
男		5人	10人	8人	13人	3人		39人
女	3人	10人	4人	4人	4人			25人
不明	2人	1人	3人		1人	2人		9人

(ウ) 購入代表者の居住地

鳥取県32人、東京都9人、神奈川県5人、長崎県4人、島根県2人、大阪府1人、兵庫県1人、奈良県1人、不明18人、合計73人

カ 利用実績

	日ノ丸自動車	日本交通	イエローバス	だんだんバス	どんぐりコロコロ	合計
合計	101回	70回	11回	16回		198回
広域1日券	44回	27回	11回	4回		86回
米子市内1日券	57回	43回		12回		112回

## 5 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

## 6 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を2回開催した。

開催日：令和3年11月2日、令和4年2月10日（書面開催）

## 7 新型コロナウイルス感染拡大防止対策関係

### (1) 米子市コロナ禍子育て応援タクシー事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活等が制限されている妊産婦の移動支援として、タクシー券を配付した。

使用枚数 3, 132枚

交付金額 1, 566, 800円

### (2) ワクチン接種移動困難者支援事業

接種を希望するが接種会場までの移動手段等がなく未接種となっている高齢者等に対し、タクシーによる送迎支援を行った。

実績件数 2件

交付金額 22, 800円

### (3) タクシー・運転代行事業緊急支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少しているタクシー及び運転代行事業者を支援するため、登録車両1台当たり5万円の支援金を支給した。

申請件数 15件

車両台数 235台

交付金額 11, 750, 000円